



バージョン 1.1.0 リリースノート

※ Trinnov App 4.2.0.23 以降とご使用下さい

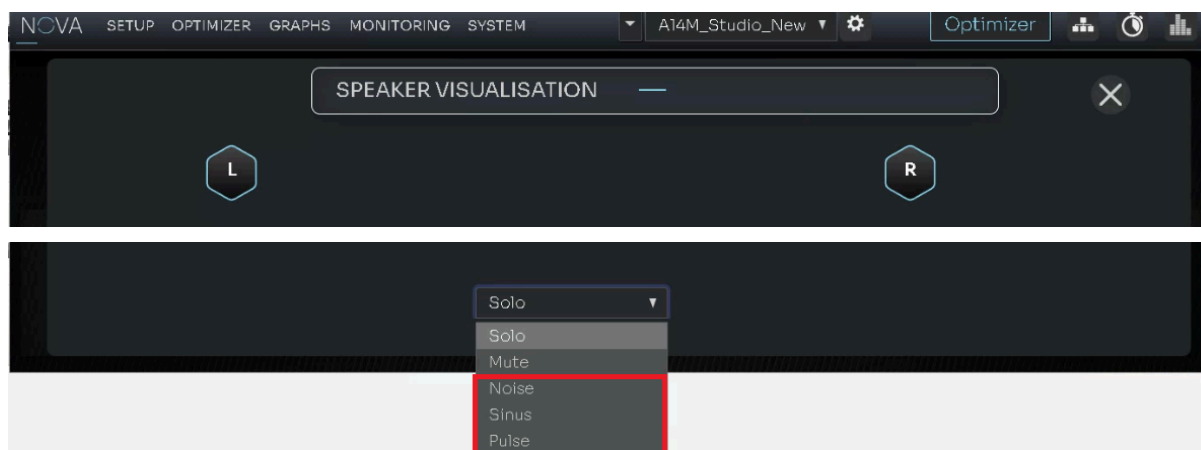
新機能

- **No Monitoring mode 追加**
No Monitoring モードでは、NOVA 内で入力を出力にルーティングし、Optimizer を使用できるため、Speaker set の概念は無関係になります。これは、コンソールやモニタリング コントローラーなどの外部デバイスを使用してスピーカー セットを切り替える場合に便利です。
- No Monitoring モード は Configuration wizard で設定が可能で、モニター フォーマットやチャンネル設定なしで入力を出力コネクタに接続できます。表示される名前は、チャンネル名ではなくコネクタ名になります。Direct 出力や Mixdown などの一部の機能は、このモードでは利用できませんので注意してください。
- Calibration wizard には、0 ～ 30 秒の範囲で調整可能なカスタマイズ可能な Countdown タイマーが含まれるようになりました。
- Network/Service に、ユニットと Trinnov Server 間の接続を無効にするチェックボックスが追加されました。Preset が存在しない場合は、Setup wizard の最初の手順にもこのチェックボックスが表示されます。
- ヘッドフォンの使用時にメインモニターを自動的にミュートできるようになりました (MONITORING > Headphone > “Mute mainmonitor when phones are active”)。
- Avid/Eucon モニタリング マッピングが利用可能になりました。
- Target curves, excursion curves, EQ, FIR EQ に “Link all” ボタンが追加されました。
- メーターのフルページでメーターをクリックすると、その値が記憶されるようになりました。



- サイン波と パルス ノイズ が、ホームの拡張モニタリング タイルで利用できるようになりました。





- La Remote の設定のエクスポートが可能になりました。
- La Remote の設定で カスタム ロゴが利用できるようになりました(注意: 128px X 103px サイズの PNGファイルを使用してください: Win版ではまだうまく動作しません)。
- ADAT SMUX 96kHz がサポートされるようになりました。
- ADAT モードでは、サンプリング レートの横に SMUX ratio が表示されるようになりました。

機能強化

- グラフが左側全体を占めるようになりました。タブ ナビゲーションは、表示セクションの "**Graph selection**" に置き換えられました。
- グラフでは、ズーム セクションの "**scale range**" オプションを使用して X軸のスケールをフィルターできるようにしました。
- 混乱を避けるため、グラフ内の 10/20 Hz 値はデフォルトで非表示になりました。**zoom section** で再度有効にすることは可能です。
- Basic モードのグラフ タイトルの横にある情報アイコン  で、グラフの機能の説明が表示されるようになりました。
- Graph の Expert モードのツールが簡素化され、マーカーは削除されました。
- Graph の Expert モードでは、レイアウトの保存ボタンがグラフ選択の横に表示されるようになりました。
- デフォルトのヘッドフォン音量は -24dB に固定され、スライダーをダブルクリックすると -24dB に戻るようになりました。
- Preset スロットの最大数に達した場合、"New Preset" および "Duplicate" は使用できなくなりました。
- La Remote の 4K 応答性が向上しました。
- Top ビューと elevation ビューに ホバー ツール チップを追加しました。





バグ修正

- Summary top ビューのスケールの問題を修正しました。
- スピナーが無限に実行される問題を修正しました。
- 特定のスピーカー セットの組み合わせで発生する summing の問題を修正しました。
- Preset を読み込んだ後に preset 名が変更される問題を修正しました。
- 工場出荷時設定にリセットした後に default preset が選択できない問題を修正しました。
- Wizard を実行した後、現在の preset 名が設定されない問題を修正しました。
- L/R downmix モードで Mono on L/R のゲインが正しくなかった問題を修正しました。
- Bypass モードで信号がサブウーファーにルーティングされる問題を修正しました。
- Optimizer settings オプションから使用できないメソッドを削除しました。
- ヘッドフォン レベルを調整すると LFE レベルも変更される問題を修正しました。
- イメージ ボタンの上をホバーすると起こる問題を修正しました。
- ホイールとトラックパッドを使用した Safari の音量コントロールの問題を修正しました。
- Safari での音量コントロールのマウス ホイール サポートを修正しました。
- Graph で Expert モードと Basic モードを切り替えると、間違った設定が読み込まれることがある問題を修正しました。
- Setup routing で、右側のパネルの表示の問題が修正されました。
- Brightness スライダーが dB で表示されていた問題を修正しました。
- Clock status にPTPステータスが正しく表示されない問題を修正しました。
- Calibration wizard で、External clock を使用できなくなりました。
- 誤ったデフォルト設定が呼び出されたため、"Restore default advanced settings"オプションは削除されました。
- 現在の preset ではない preset を削除すると、default preset が誤って読み込まれる問題を修正しました。

既知の制限とバグ

- Calibration wizard の “Set Calibration Level” のステップでの Calibration offset は現在適用されていません。
- 複数のスピーカー セットを使用する場合で、ライセンスの合計数を超え、6 つ以上の異なる出力に送ると(最適化されていないスピーカー セットなど)、オーディオにグリッチノイズが発生する可能性があります。

<https://apps.trinnov.audio/machine/changelog/22/1.1.0#1.1.0>

